

防災学習事例 ～何気ない普段の授業に防災を取り入れよう～

【小学部 2・3年】

日時	6月
教科・単元名	学活「みずから（自ら・水から）守ろう」
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像や写真を見たり、体験したりして大雨の時の怖さを知る。</li> <li>・適切な雨具の使い方を知る。</li> </ul>
学習内容	<p>○雨がたくさん降ると、どのようなことが起こり、どのような状況になるのかをクイズ形式で考える。</p> <p>○かっぱを着て、傘をさして体験活動)</p>
防災ワード	・みずから守ろう
児童生徒の様子	<p>・雨が降るとどうなるかについて、クイズ形式の問題に答えることができた。車が浮いている写真や川の水があふれている動画を見て、「あ！水があふれている」「あぶない」などという発言があった。</p> <p>・体験活動では、ビニール袋で作ったかっぱを着て、傘をさし、雨に見立てた水を浴びる体験を行った。はじめに、傘をさすときの約束を伝えた。すると、活動中に全員が約束を守ることができていた。雨に見立てた水を浴びる際、自分から腰を低くして濡れないように傘をさしている児童もいた。</p>
写真	 